

Korea, 2006

- Manami Inoue, Masako Kuroda, Chie Suekuni, Hideo Dannoue, Satoko Tsuru, Mutsuko Nakanishi : Structural Visualization of Expert Nursing: Expert Nursing Care for a Patient undergoing outpatient Radiotherapy, Proc. The 9th International Congress on Nursing Informatics, Seoul Korea, 2006
- Manami Inoue, Sumie Mikami, Masami Hanade, Hideo Dannoue, Satoko Tsuru : Structural Visualization of Expert Nursing: Expert Nursing Care for Extravasation of Anticancer Agent, Proc. The 9th International Congress on Nursing Informatics, Seoul Korea, 2006

2006 年度以前の関連成果及び業績

- 水流聡子：高度専門看護実践におけるアルゴリズムの可視化，ワークショップ「高度専門看護実践におけるアルゴリズムの可視化」，第9回日本医療情報学会 春季学術大会，東京，7月13-14日，2005
- 渡邊千登世、内山真木子：がん性疼痛マネジメントシステム，ワークショップ「高度専門看護実践におけるアルゴリズムの可視化」，第9回日本医療情報学会 春季学術大会，東京，7月13-14日，2005
- 竹内登美子、綿貫成明、松田好美：術後せん妄ケアプログラム，ワークショップ「高度専門看護実践におけるアルゴリズムの可視化」，第9回日本医療情報学会 春季学術大会，東京，7月13-14日，2005
- 河口てる子、東めぐみ：糖尿病自己管理教育プログラム，ワークショップ「高度専門看護実践におけるアルゴリズムの可視化」，第9回日本医療情報学会 春季学術大会，東京，7月13-14日，2005
- 岡美千代、神谷千鶴：透析自己管理教育プログラム，ワークショップ「高度専門看護実践におけるアルゴリズムの可視化」，第9回日本医療情報学会 春季学術大会，東京，7月13-14日，2005
- 紺家千津子、真田弘美：ストーマ自己管理教育プログラム，ワークショップ「高度専門看護実践におけるアルゴリズムの可視化」，第9回日本医療情報学会 春季学術大会，東京，7月13-14日，2005
- 北川敦子、真田弘美：褥そう予防ケアアルゴリズム，ワークショップ「高度専門看護実践におけるアルゴリズムの可視化」，第9回日本医療情報学会 春季学術大会，東京，7月13-14日，2005
- 高見美紀、石垣恭子、水流聡子、他：長期療養型病床群における看護観察指示システムへの標準患者観察マスターの実装と評価，医療情報学，24(6)，pp631-637，2005
- 井上真奈美、内野聖子、段ノ上秀雄、水流聡子、石垣恭子、中西睦子、川村佐和子：看護実践行為名称の解説に対する消費者の理解と傾向からみた課題—看護実践行為内

- 容を消費者に提示していくために一、第9回日本看護管理学会年次大会講演抄録集, pp132-133, 2005
- ・ 水流聡子、中西睦子、川村佐和子、石垣恭子、他：高度専門看護実践のアルゴリズムの可視化, 医療情報学, 25(Supplement), pp139-141, 2005
 - ・ 渡邊千登世、佐藤エキ子、内山真木子、中島佳子、岡田美賀子、水流聡子：高度専門看護実践の構造的可視化：がん性疼痛マネジメントシステム, 医療情報学, 25(Supplement), p142, 2005
 - ・ 綿貫成明、竹内登美子、松田好美、寺内英真、高橋由起子、五島光子、西本裕、水流聡子：高度専門看護実践の構造的可視化：術後せん妄ケアプログラム, 医療情報学, 25(Supplement), p143, 2005
 - ・ 東めぐみ、河口てる子、横山悦子、太田美帆、伊藤暁子、両田美智代、水流聡子：高度専門看護実践の構造的可視化：糖尿病自己管理教育プログラム, 医療情報学, 25(Supplement), p144, 2005
 - ・ 神谷千鶴、岡美智代、山名栄子、佐川美枝子、水流聡子：高度専門看護実践の構造的可視化：シャント自己管理教育プログラム, 医療情報学, 25(Supplement), p145, 2005
 - ・ 神谷千鶴、岡美智代、山名栄子、佐川美枝子、水流聡子：高度専門看護実践の構造的可視化：CAPD カテーテル自己管理教育プログラム, 医療情報学, 25(Supplement), p146, 2005
 - ・ 岡美智代、神谷千鶴、山名栄子、水流聡子：高度専門看護実践の構造的可視化：体重管理の行動変容プログラム, 医療情報学, 25(Supplement), pp 147-148, 2005
 - ・ 北川敦子、真田弘美、須釜敦子、紺家千津子、大桑麻由美、水流聡子：高度専門看護実践の構造的可視化：褥そう予防・治療プログラム, 医療情報学, 25(Supplement), p149, 2005
 - ・ 紺家千津子、真田弘美、水流聡子：高度専門看護実践の構造的可視化：ストーマのセルフケア教育プログラム, 医療情報学, 25(Supplement), p150, 2005
 - ・ 脇坂浩、田中彰子、菊一好子、小島恭子、藤木くに子、水流聡子：高度専門看護実践の構造的可視化：結核感染の可能性のある患者への予防的ケア, 医療情報学, 25(Supplement), p151, 2005
 - ・ 水流聡子、中西睦子、川村佐和子、石垣恭子、渡邊千登世、内山真木子、ほか：電子カルテ・電子パスが必要とする看護マスターの開発, 第25回日本看護科学学会学術集会講演集, p120, 2005
 - ・ 水流聡子、中西睦子、川村佐和子、石垣恭子、渡邊千登世、ほか：高度看護実践の可視化・構造化のためのアルゴリズム表記法の開発, 第25回日本看護科学学会学術集会講演集, p131, 2005
 - ・ 井上真奈美、水流聡子、花出正美、金子真理子：がん化学療法における看護実践と看護者の思考過程, 第25回日本看護科学学会学術集会講演集, p162, 2005

- ・ 水流聡子、中西睦子、川村佐和子、宇都由美子、石垣恭子、井上真奈美：看護行為マスターの開発とその概要, 看護管理, Vol.15 No.7, pp540-550, 2005
- ・ 水流聡子、内山真木子、渡邊千登世、段ノ上秀雄：看護観察マスターの開発とその概要, 看護管理, Vol.15 No.7, pp551-554, 2005
- ・ 水流聡子、中西睦子、渡邊千登世、内山真木子、佐藤エキ子、川村佐和子：高度専門看護実践のサブシステムライブラリーへの展開, 看護管理, Vol.15 No.7, pp555-561, 2005
- ・ 水流聡子、中西睦子、川村佐和子、石垣恭子、宇都由美子、井上真奈美、坂本すが、村上睦子、佐藤エキ子、飯塚悦功、棟近雅彦：高度専門看護実践における知識の可視化研究. 看護研究, 38 (7) : 523 - 532, 2005.
- ・ 渡邊千登世、水流聡子、中西睦子、内山真木子、佐藤エキ子、段ノ上秀雄：高度実践「がん性疼痛マネジメントプログラムドケア」の解説. 看護研究, 38 (7) : 533 - 541, 2005.
- ・ 綿貫成明、竹内登美子、松田好美、寺内英真：術後せん妄のアセスメントおよびケアのアルゴリズム (案) 開発—腹部・胸部外科における典型的な手術を例として. 看護研究, 38 (7) : 543 - 558, 2005.
- ・ 岡美智代、神谷千鶴、佐川美枝子、山名栄子：疾病の自己管理支援プログラム—透析自己管理教育プログラムのアルゴリズム. 看護研究, 38 (7) : 559 - 577, 2005.
- ・ 河口てる子、東めぐみ、横山悦、中西睦子、水流聡子：糖尿病自己管理教育 (食事療法) の高度専門看護実践アルゴリズム試案—「認知と行動」に依拠するアルゴリズムは可能か. 看護研究, 38 (7) : 579 - 592, 2005.
- ・ 市川幾恵、水流聡子、山嵜 絆：看護職が持つべき社会経済視点 (座談会), インターナショナルナーシングレビュー27(3)別冊, 6-13, 日本看護協会出版会, 東京, 2004
- ・ 竹田雄介、沢田秋、水流聡子、萱間真美：記録における看護行為・用語の標準化 - 電子カルテに精神科の特徴を反映させるために-. 精神看護 Vol.31 No.6 pp35-40, 2004
- ・ 水流聡子、中西睦子、川村佐和子、石垣恭子、井上真奈美、村上睦子、岡美智代、勝野とわ子、小島恭子、真田弘美、成田伸、川口孝泰、河口てる子、萱間真美、丸光恵、江口隆子、佐藤エキ子、佐藤紀子、山本あい子、村嶋幸代、竹内登美子、嶋森好子：電子カルテのための看護実践用語整備に向けて—プログラムドケアの開発—、第 24 回日本看護科学学会学術集会講演集, 2004, p617
- ・ 水流 聡子：「医療 TQM (Total Quality Management) をめざす看護」を支える初期情報システムと必要とする看護マスター. 第 24 回医療情報学連合大会論文集(CD-R), 2004, total 1p
- ・ 渡邊 千登世：がん性疼痛マネジメント (プログラムドケア) の設計開発. 第 24 回医療情報学連合大会論文集(CD-R), 2004, total 1p

- ・ 宇都 由美子：全国標準看護マスタとDPC. 第 24 回医療情報学連合大会論文集 (CD-R), 2004, total 1p
- ・ 石垣 恭子、高見 美樹：ベッドサイドケアに情報・知識を活かすナースの育成（基礎教育）. 第 24 回医療情報学連合大会論文集(CD-R), 2004, total 1p
- ・ 佐藤 エキ子：ベッドサイドケアに情報・知識を活かせるナースの育成（継続教育）. 第 24 回医療情報学連合大会論文集(CD-R), 2004, total 1p
- ・ 水流聡子：看護が果たすべきアカウントビリティーと看護サービスの可視化；看護・看護教育分科会 シンポジウム 「今、看護職に求められるもの」. 第 43 回全国自治体病院学会抄録集, 2004, p110
- ・ K.A.McCormick, S.Tsuru, U.Gerdin, P.Weber, A.Casey, E.Hovenga, J.Ho, K.Kerr, R.Carr : An Update on Standards Activities from Around the Globe. Medinfo 2004, San Francisco, Sep 5-12 , 2004
- ・ Satoko Tsuru, Mutsuko Nakanishi, Sawako Kawamura, Sigeki Horiuchi, Sachiyo Murashima, Mami Kayama, Kyoko Ishigaki, Miki Takami, Manami Inoue, Yukiko Nagaoka, Kazuko Hondo, Ryoko Hidaka, Atsuko Taguchi:NURSING PRACTICE TERMINOLOGY FRAME FOR ELECTRONIC HEALTH RECORD SYSTEM.Fifth International Nursing Research Conference , Fukushima, Aug 29,2004
- ・ 水流聡子、中西睦子、川村佐和子、石垣恭子、宇都由美子、井上真奈美、溝上五十鈴、才野原照子、内野聖子、日高陵好、本道和子、村嶋幸代：基本看護実践標準用語が看護の質保証に貢献する可能性－電子経過表への実装結果に基づく評価－. 第 8 回日本看護管理学会年次大会講演抄録集, 2004 年, p230
- ・ 水流聡子：電子カルテに必要な看護用語の標準化－高度専門看護実践標準用語の設計－. 第 8 回日本看護管理学会年次大会講演抄録集, 2004, p252
- ・ 津久間秀彦、水流聡子、津久間秀彦、水流聡子、飯塚悦孝、高橋真冬、矢野真、永井庸次：患者参画型チーム医療の設計－“患者本位”と“安全管理”の視点の組み込み－. 医療情報学 Vol.24 No.1 (April2004) pp237-240
- ・ 水流聡子、会田均、高橋宏行、飯塚悦孝：患者状態に起因するアクシデント予測のためのケースアセスメントシートの開発－関連要素の抽出とシートの設計－. 日本品質管理学会第 74 回研究発表会研究発表要旨集, pp101-104, 2004
- ・ 水流聡子、石垣恭子、宇都由美子、高見美樹：臨床で使用されている看護行為名称の分析－看護行為の記録に必要とするマスタファイル－, 医療情報学 23(1) 65-76, 2003
- ・ 水流聡子：看護に求められるインフォームドコンセント. 看護実践の科学 28(1) : 10-15, 2003
- ・ 水流聡子：EBN に不可欠な看護用語の標準化, EB Nursing, 3(4),46-51, 2003
- ・ 水流聡子、中西睦子、川村佐和子、本道和子：病院－在宅継続医療のための看護情報

の活用, 保健の科学,45(10),729-735,2003

- 水流聡子:電子カルテを視野に入れた看護用語の標準化, 看護管理, 13(11), 883-886, 2003
- 水流聡子: 提供した看護の妥当性を示せる記録とは, 看護展望, 29(2), 12-16, 2003
- 水流聡子: 情報開示に耐えられる看護実践用語とその教育. 第23回医療情報学連合大会論文集 77-78, 2003
- 水流 聡子、宇都由美子、石垣恭子、井上真奈美、高見美紀、柏木聖代、美代 賢吾: 電子カルテで使用する看護マスターの標準化の課題－高度専門看護実践の名称とその基準－. 第23回医療情報学連合大会論文集 140-141, 2003
- 水流聡子、井上真奈美、高見美樹、柏木聖代、石垣恭子、宇都由美子、美代賢吾: 中間言語機能を有するICNPを用いた日本の看護実践の記述. 第23回医療情報学連合大会論文集 524-525, 2003
- 坂田香代、溝上五十鈴、水流聡子、原田文子、杉村美由紀、才野原照子、津久間秀彦、田中武志、石川澄: 標準化した看護ケア用語導入の効果－患者の全体像が見える記録へ－. 第23回医療情報学連合大会論文集 36-37, 2003
- 北村和美、河村明江、沼田美幸、吉川文花、水流聡子、池本かつみ、田中武志、香西克之、河野香苗、才野原照子、溝上五十鈴、岩田則和、津久間秀彦、石川澄: 医療の電子化に対応する可搬型端末用ワゴンの開発－ベットサイドおよびスタッフステーションにおける機能性の追求－. 第23回医療情報学連合大会論文集 38-40, 2003
- 河村明江、水流聡子、北村和美、吉川文花、新谷公伸、川野知子、田中武志、香西克之、吉野純、中山正俊、才野原照子、溝上五十鈴、津久間秀彦、石川澄: 診療看護過程が見える電子経過表の開発－計画・実施・結果・評価のプロセスを全医療スタッフ・患者と共有－. 第23回医療情報学連合大会論文集 64-65, 2003
- Satoko Tsuru, Isuzu Mizogami, Masae Kawai, Teruko Sainohara, Yumiko Kurihara, Miyuki Sugimura, Nakao Konishi, Hidehiko Tsukuma, Kiyomu Ishikawa: Basic Configuration of Nursing Care Process Support System in Japan. 8th International Congress in Nursing Informatics, Rio de Janeiro, Brazil, June 20 – 25, 2003: E-papers: 681, 2003
- Akie Kawamura, Satoko Tsuru, Fumiko Harada, Humika Kikkawa, Kazumi Kitamura, Isuzu Mizogami, Teruko Sainohara: Construction of information system, aiming at the realization of substantial bedside care. 8th International Congress in Nursing Informatics, Rio de Janeiro, Brazil, June 20 – 25, 2003: E-papers: 644, 2003
- Mutsuko Moriwaki, Mie Masaki, Satoko Tsuru: Analysis of nursing terms related to infection used in Japanese hospitals. 8th International Congress in Nursing Informatics, Rio de Janeiro, Brazil, June 20–25, 2003: E-papers: 679, 2003

- Satoko Tsuru, Mutsuko Nakaishi, Sawako Kawamura, Kazuko Hondo: Practical Use of Nursing Information for Continuous Medical Treatment between Hospital and Home. The Todai International Symposium 2002 –New Development on Nursing Informatics–, Tokyo, Feb 20–21: 109–112, 2003
- The Todai International Symposium 2002, New Development on Nursing Informatics, “Practical Use of Nursing Information for Continuous Medical Treatment between Hospital and Home”, Feb. 2003
- 第26回医学会総会 セッション：先端医療における看護職の役割 「情報科学と看護システム」, 2003年4月
- S. Tsuru, S. Narita, M. Murakami, K. Sakanashi, I. Saito, N. Nakane, M. Akayama, M. Nakanishi: Relationships among Midwifery Care, Trend of Birth Rate, Medical Resources and Consumer's View. The 26th Triennial Congress of the International Confederation of Midwives, Vienna, April 14-18, 2002: CD-ROM total 7p (full paper), 2002
- 水流聡子, 中西睦子, 太田勝正, 村嶋幸代, 中根薫, 河口真奈美, 片山京子, 出羽澤由美子：臨床における情報共有のための看護用語標準化の課題－看護行為の名称と内容に関する対応の実態－. 医療情報学 22(1) : 59-70, 2002
- 鈴木学美, 宮田さおり, 近森栄子, 村嶋幸代, 片山京子, 岡本玲子, 太田勝正, 出羽澤由美子, 水流聡子, 中根薫, 河口真奈美, 中西睦子：訪問看護における看護実践用語の構造と特徴. 看護科学会誌 22(2) : 11-22, 2002
- 柏木聖代・水流聡子・柏木公一・美代賢吾・西亀正之：施設間での看護サマリーの電子的交換に関する研究－医療機関がもつ記録における看護サマリー情報の記載の状況－. 医療情報学 22(2) : 169-178, 2002
- 水流聡子, 石垣恭子, 美代賢吾, 柏木公一, 柏木聖代, 高見美樹：連携に必要な情報の精選と電子的手段による共有：現況と展望－病院と訪問看護の連携－. 看護展望 27(2) : 28-32, 2002

申請中の特許

本研究に関連して、以下の1件の特許を申請中である。

がん性疼痛マネジメントシステム, 出願番号：特願2004-351074,
平成16年12月3日申請

【出願者】 水流聡子、中西睦子

【発明者】 水流 聡子・中西 睦子・佐藤エキ子

渡邊千登世・内山真木子・中島佳子・菊池美賀子

【資料編】

看護実践用語標準マスターの概要
＜看護行為編 Ver.2.0＞

2006年12月

財団法人 医療情報システム開発センター(MEDIS-DC)

医療情報の標準化委員会

看護用語の標準化検討分科会

1. 開発について

本マスターは、看護実践現場で実際に使用されている用語を収集し、チーム医療の中で看護の役割や専門性を示す本質的な部分を抽出し、行われているあるいは行われつつある看護ケアサービス全体を再構築する作業を通して、作成されました。

1-1. 作成にあたって

- ①ナースが現場で実際に行っていることを書きあらわす言葉にしぼる。
 - 看護診断や看護問題は入っていません。
- ②あくまで看護の現場に役立てる。
 - "By the field, for the field, of the field."
- ③現実性と将来性をかね備えたものとする。
 - 診療報酬の現状を考慮しつつ、将来的には看護報酬の体系が作りやすいよう構想する。
 - 看護の専門性を脱く理論枠を念頭におく。
- ④現場の変化やニーズに応じて引き続き改変を重ねる作業を行う。
- ⑤ICNP、NIC、NANDA、SNOMED-CT など他の用語体系との照合は、今後研究的にすすめる必要がある。

2. 看護実践用語標準マスターの概要

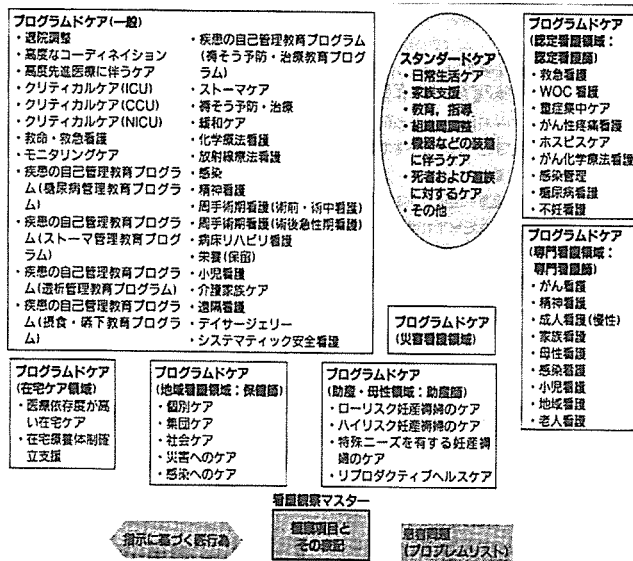
看護行為編は、看護実践現場で実際に使用されている用語を収集し、チーム医療の中で、看護の役割や専門性を示す本質的な部分を抽出し、あるべき看護ケアサービス全体を再構築する作業を通して作成された、構造化用語集です。

看護観察編は、看護師による患者の状態観察において、観察項目を特定し、それに名称を付与し、その結果を表記する時の、標準的な表記方法に関する構造化された用語集です。

看護行為編では、看護行為の固まりとその名称を特定し、用語一覧を作成することで、電子カルテ、電子経過表、クリティカルパスの中に、実施行為および予定行為として記録できるようになります。また、看護計画・看護オーダーシステム等での利用もできます。一方、ある「看護行為」を実施することの妥当性は、そのときの「患者状態」によります。患者状態は、「観察行為(測定・計測等を含む)」から発生する「観察項目」と「その表記」によって、示唆されます。看護観察編の用語は、電子カルテ、電子経過表、クリティカルパスでも必要となります。看護実践で用いる用語の標準化は、電子化のみならず、質保証・評価のために必須です。

※プログラムドケアの一般領域は公開していますが、開発中です。

基本看護実践標準用語 (スタンダードケア) standard care	高度専門看護実践標準用語 (プログラムドケア) Programmed care
<p>看護師の資格を有するものであれば、その品質を保証して実施できる看護ケア。保健・医療・福祉のいずれの領域・組織においても共通して存在する看護ケア</p>	<p>特定の看護目標を達成するため、多様な関連理論を用いて構成する一連の計画的ケアで、対象の状態や変化に対応する行為の選択枝が多岐にわたっているもの</p>
<p>日常生活ケア (116) 家族支援 (14) 指導・教育 (86) 組織間調整 (21) 機器などの装着に伴うケア(11) 死者および遺族に対するケア (6) その他 (5) <看護行為総数: 259件></p>	<p>一般領域 (136) 認定看護領域 (構築中) 専門看護領域 (構築中) 助産・母性領域 (363) 在宅領域 (125) 地域看護領域 (構築中) <看護行為総数: 624件></p>



(出典：水流聡子・中西睦子・川村佐和子・宇都由美子・石垣恭子・井上真奈美
 特集・看護業務を支える病院システム—医療情報としての看護用語の標準化の取り組み
 看護行為マスターの開発とその概要、『看護管理』, Vol.15 No.7, 548 頁, 2005 発行)

3. 看護行為編の特徴

①基本看護実践標準用語(スタンダードケア)と高度専門看護実践標準用語(プログラムドケア)

看護行為編は、基本看護実践標準用語と高度専門看護実践標準用語の2つに体系化されています。基本看護実践標準用語はスタンダードケアとも言われ、看護師の資格を有するものであれば、その品質を保証して実施できるはずの、看護ケアを対象としています。保健・医療・福祉のいずれの領域・組織においても共通して存在する看護ケアです。

高度専門看護実践標準用語はプログラムドケアとも言われ、特定の看護目標を達成するため、多様な関連理論を用いて編成する一連の計画的ケアで、対象の状態や変化に対応する行為の選択肢が多岐にわたっているものです。

②用語の階層化

看護行為編は、第1階層から第4階層までの階層構造になっています。

第1階層：看護行為の対象・目的・専門性の程度によって区分した包括的な分類

第2階層：第1階層の各範疇を目的別に区分した分類

第3階層：第2階層の各範疇に入る具体的な行為目録

第4階層：第3階層の行為を状況・方法に応じて分類したもの

(部位、サポートレベル、選択した方法・内容)・・・第4階層は必要なものだけに記載

③定義の設定

第1階層、第2階層、第3階層には、定義を設定しています。

第3階層は、混乱しそうなものについて、ケア事例を準備

第3階層の行為名は、粒度(個々の固まりの大きさ)が必ずしも一定ではない

第4階層の一部に、定義・説明・解説を設定

第4階層の一部に、ケア事例を準備

臨床現場でケアとして提供しているものには、理論にもとづいて非常にうまく手順等がセット化されているものから(例: ストーマ教育プログラム)、患者ニーズを充足するためにとにかく対応している芽生え的な、洗練化途上にあるケア(例: 悩みや思いを聴く)まで、存在します。それらは患者にとってはすべて必要とされるケアであることから、粒度の問題については過剰な議論はせず用語一覧として準備しました。

またケア事例については、第3階層と第4階層は同じ項目に記していますが、第4階層が「D000」の場合は第3階層の事例であり、それ以外は第4階層の事例となります。

例) 基本看護実践標準用語(スタンダードケア)

管理番号	第1階層 識別番号	第1階層名称 (第二グループ名称)	第1階層の定義	第2階層 識別番号	第2階層名称 (第二グループ名称)	第2階層の定義
12000001	A001	日常生活ケア	患者さんの人間としての基本的ニーズを満たし、生命・生活・尊厳を維持するためのケア	B001	清潔ケア	洗浄等の物理的・化学的手法を用いて、皮膚および粘膜の清潔を保ち、血行促進・保湿を目的とするケア

第3階層 識別番号	第3階層名称(行為名称)	第3階層の定義
C001	入浴	患者さんの状態に合わせて、髪や身体を洗い、さらに身体の清潔を保ち血行促進するために、湯船につかることを介助するケア

第4階層 識別番号	第4階層名称(事例)	第4階層の定義・説明・解説	第3階層、第4階層の事例
D003	継続的観察		<事例> 大腸骨髄腫患をした患者さんが、浴槽に入る際可動域を踏まないに自分自身で注意して移動ができるように、手を出さず声をかけながら、危険を回避するために入浴に付き添った。

④全体の枠組み

「基本看護実践標準用語」は、急性期病院・慢性期病院・助産領域・在宅ケアのいずれの対象に対しても共通して実施している基本的なケアを示す用語です。その上に、各医療機関やケア提供の場に応じて、提供する特異的なケアが存在します。それらのケアは高度にプログラムされており、患者状態に適切してフレキシブルに提供されています。これらの看護行為名称が、「高度専門看護実践標準用語」の中に存在します。たとえば、在宅ケアを受けている対象者に対して提供された看護ケアサービスの記録には、「基本看護実践標準用語」、「高度専門看護実践標準用語(在宅領域)」の両者が記載される可能性があるということになります。

⑤コーディングについて

一連の番号と階層ごとの識別番号を附番しました。

(1) 管理番号

第1階層から第4階層まで1レコードごとに8桁で構成されています。基本看護実践標準用語の頭2桁は「12」、高度看護実践標準用語の頭2桁は「13」としました。

(2) 識別番号

アルファベット1文字と数字3桁の4桁で構成されています。

基本看護実践標準用語の第1階層は A001 から、第2階層は B001 から、第3階層は C001 から、それぞれ附番されています。

第4階層は、用語が設定されていない D000 から附番されています。

高度看護実践標準用語の第1階層は E001 から、第2階層は F001 から、第3階層は G001 から、それぞれ附番されています。第3階層がない場合もあり、G000 が設定されています。

第4階層は、用語が設定されていない H000 から附番されています。

(1)(2)ともに削除された場合は永久欠番となり、再附番はされません。

基本看護実践標準用語

第1階層グループ名称	第2階層グループ名称	第3階層(記載例)行為名称	第4階層(記載例)修飾語
日常生活ケア	清潔ケア	入浴	全介助

高度看護実践標準用語 助産・母性領域、在宅領域

第1階層グループ名称	第2階層グループ名称	第3階層(記載例)行為名称	第4階層(記載例)修飾語
妊産褥婦のケア	妊娠期指導・教育(外来で実施)	妊婦セルフケア教育	生活行動(衣類)

基本看護実践標準用語

管理番号	第1階層 識別番号	第1階層グループ 名称	第2階層識別 番号	第2階層グ ループ名称	第3階層識 別番号	第3階層(記載 例)行為名称	第4階層 識別番号	第4階層(記載 例)修飾語
12000001	A001	日常生活ケア	B001	清潔ケア	C001	入浴	D001	全介助

管理番号 12000001

識別番号 A001B001C001D001

高度看護実践標準用語 助産・母性領域、在宅領域

管理番号	第1階層 識別番号	第1階層グ ループ名称	第2階層 識別番号	第2階層グ ループ名称	第3階層 識別番号	第3階層(記載 例)行為名称	第4階層識 別番号	第4階層(記載 例)修飾語
13000137	E017	妊産褥婦のケア	F050	妊娠期指導・教育 (外来で実施)	G107	妊婦セルフケア 教育	H001	生活行動(衣類)

管理番号 13000137

識別番号 E017F050G107H001

4. 看護行為編の詳細

4-1. 提供ファイル形式

マスターのダウンロードには、2種類あります。

(1) Excel形式ファイル

前版(Ver.1.0)からの更新内容を反映させたデータを、閲覧用に見やすくしてあります。

項番 1「変更区分」、項番 16「更新日付」、項番 17「変更前変更後管理番号」は含まれていません。

また、各階層のグループ分けが見やすいように、グループ名称などは各グループの1行目のみに記載してあります。

(2) CSV形式ファイル

(各項目を二重引用符(“)で囲みカンマ(,)で区切ったCSV形式のテキストファイル)

システムにデータを組み込む際に利用しやすいよう、変更区分などメンテナンスに必要な項目と、前版(Ver.1.0)で削除されたデータ、Excel形式ファイルで省略したグループ名称等も含まれたデータです。

4-2. 収録レコード数

(1) 基本看護実践標準用語レコード数	953 件
(2) 高度専門看護実践標準用語(助産・母性領域)レコード数	466 件
(3) 高度専門看護実践標準用語(在宅領域)レコード数	150 件

(参 考)

レコードの異動状況内訳(2006年2月版(ver.1.0)との対比内訳)

① 継承用語(変更なし)	1,052 語 (変更区分"0")
② 今版削除用語	67 語 (変更区分"1")
③ 既削除用語	0 語 (変更区分"2")
④ 新規用語	447 語 (変更区分"3")
⑤ 変更用語	3 語 (変更区分"5")

※ 高度専門看護実践標準用語(一般領域)につきましては、現在更新作業中であり、大幅な変更がされるため、本版には収録されておりません。お使いになる場合は、旧版(ver.1.0)から抽出してください。ただし、今後、管理番号の振りなおしも含め、大幅な変更も考えられますのでご了承ください。

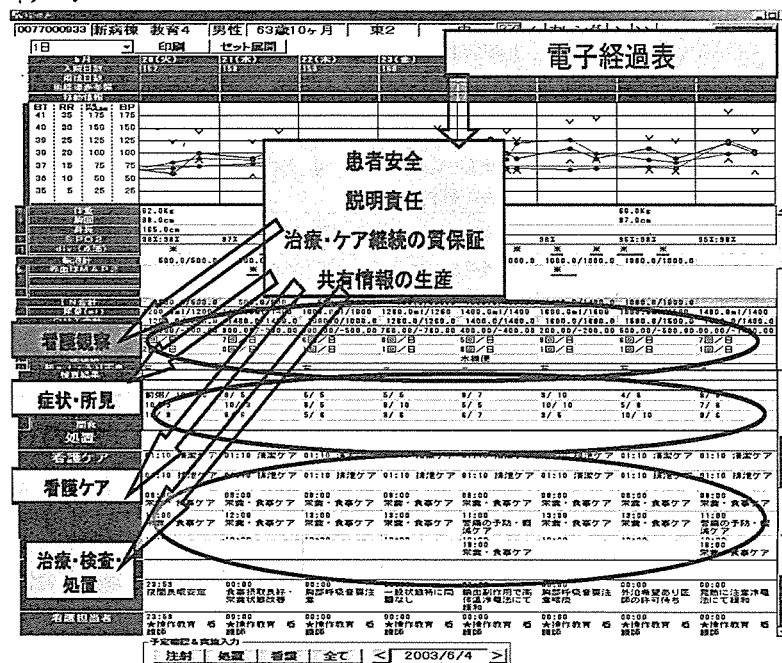
4-3. 看護行為編テーブル

項番	フィールド名	最大長	可変長	空欄有	説明
1	変更区分	1			レコード単位の更新状況を次の5つに分類しています。 0=前版と内容が同一の場合は"0"が入力されています(変更無し) 1=今版で削除が決まった場合は"1"が入力されています(削除) 2=前版までに削除された場合は"2"が入力されています(削除) 3=今版で新たに追加された場合は"3"が入力されています(新規追加) 5=前版から内容が変更されている場合は"5"が入力されています(変更)
2	管理番号	8			第1階層、第2階層、第3階層、第4階層までを合わせたものに1対1で対応する一意の管理番号です。更新情報の反映など、本テーブルの管理のために使用されます。
3	第1階層識別番号	4			アルファベット1桁と半角数字3桁から成ります。例示) A001, E001
4	第1階層グループ名称	全角20文字	*		看護行為の対象・目的・専門性の程度によって区分した包括的な分類です。例示) 日常生活ケア
5	第1階層の定義	—	*		「第1階層グループ名称」の定義です。
6	第2階層識別番号	4			アルファベット1桁と半角数字3桁から成ります。例示) B001, F001
7	第2階層グループ名称	全角30文字	*		第1階層の各範疇を目的別に区分した分類です。例示) 清潔ケア
8	第2階層の定義	—	*		「第2階層グループ名称」の定義です。
9	第3階層識別番号	4			アルファベット1桁と半角数字3桁から成ります。例示) G001, G001
10	第3階層(記載例)行為名称	全角40文字	*		第2階層の各範疇に入る具体的な行為目録です。例示) 入浴
11	第3階層の定義	—	*		「第3階層(記載例)行為名称」の定義です。
12	第4階層識別番号	4	*	*	アルファベット1桁と半角数字3桁から成ります。例示) D001, H001
13	第4階層(記載例)修飾語	全角30文字	*	*	第3階層の行為を状況・方法に応じて分類したものです(部位、サポートレベル、選択した方法・内容)。 ※必要な領域にのみ設定。例示) 全介助
14	第4階層の定義・説明・解説	—	*	*	「第4階層(記載例)修飾語」の定義・説明・解説です。 ※必要な領域にのみ設定。
15	第3階層、第4階層の事例	—	*	*	「第3階層(記載例)行為名称」または「第4階層(記載例)修飾語」の事例です。※必要な領域にのみ設定。
16	更新日付	8		*	このレコードに修正が最後に加わった日付をYYYYMMDDの形式で入力してあります。空欄は初期レコードのままを表します。
17	変更前変更後管理番号	—	*	*	行為名称が更新もしくは削除の結果、新たに対応すべき正しい行為名称、または以前の行為名称の管理番号を入れてあります。 ※複数ある場合は、半角の「・」で区切られています。
18	作業用ソートkey	4			提供ファイル形式(Excel形式及びCSV形式)での並び順にタイトル行を"0"とし、昇順で附番してあります。並び順が崩れた場合にお使いください。

5. ご利用に際して

本マスターは看護業務の電子的な記録に活用するためのマスターとして開発されました。病院内の情報化にともなう電子カルテ、電子経過表、クリティカルパスの看護観察での利用にとどまらず、関係者や関連機関との情報共有、患者の転院における看護ケアの継続性の確保、提供可能な看護行為の提示、患者や家族への看護行為の説明、看護教育での利用、看護行為の質の保証や評価、看護量の測定、業務計画の作成など様々な面での利用が考えられます。

イメージ



広島大学病院・聖路加国際病院では、現在電子経過表（聖路加国際病院では、ナースングチャートと呼んでいる）が稼働中です。電子経過表は、実施されたケア、すなわち、本マスター内の用語が電子経過表の中に次々と記載されていくシステムで、全体の病院情報システムの中に組み込む作業をしています。電子経過表の画面を、以下に紹介します。

時刻	内容	時刻	内容	時刻	内容
07:00	洗面	08:00	オムツ交換	08:40	洗面
07:00	口腔清掃	08:30	室内環境調整	08:40	室内環境調整
07:00	更衣	08:30	洗面	08:40	口腔清掃
07:00	オムツ交換	08:30	更衣	08:40	更衣
08:00	食事	07:30	口腔清掃	08:40	NE機器作動状態の確認
08:00	排便管理	08:40	食事	08:40	食事
08:00	NE機器作動状態の確認	10:00	痛みや思いを聞く	10:40	意思疎通の補助(聴覚障害)
08:00	意思疎通の補助(聴覚障害)	10:00	意思疎通の補助(聴覚障害)	10:40	意思疎通の補助(聴覚障害)

電子経過表＝経過表に看護量がみえる

上記のように、同じ疾患でも、患者によってケア量にちがいがあることが、あきらかにわかるようになります。また看護が何をしているかを、可視化することができます。

6. メンテナンス体制について

今後の開発およびメンテナンスについては、看護用語の標準化検討分科会が中心になって行います。
更新回数は原則として年一回、時期は12月末とします。

～看護実践用語看護マスターに関する意見の募集～

本マスターをより使いやすくするために、皆様のご意見や追加要望等を募集いたします。
現場の看護師さんにご利用いただくためにマスターに関するご意見をお待ちしております。

看護実践用語看護マスター<看護行為編><看護観察編>に関する問合せ先
(財)医療情報システム開発センター(MEDIS-DC)
標準化推進部
TEL 03-5805-8205 FAX 03-5805-8211
e-mail kangoyogo@medis.or.jp

看護行為編更新情報

◎ver2.0 で更新されたデータの修正情報

★修正

管理番号	修正階層	階層識別番号	旧(ケア)名称など	新(ケア)名称など	修正理由
12000019	第3階層、第4階層の事例	D000	文中の「完納」の文字 文中の「座欲」の文字	「還納」に訂正 「坐浴」に訂正	誤植の修正
13000192	第3階層定義	G119	「妊婦健診」の定義空欄	定義を記載	定義を記載
13000193	第3階層定義	G120	文中の「開講」の文字	「開口」に訂正	誤植の修正

★新規追加

管理番号	階層	階層識別番号	(ケア)名称	新規追加理由
12000635	第4階層	D000	(空欄)	「入浴」に追加
12000636	第4階層	D000	(空欄)	「シャワー浴」に追加
12000637	第4階層	D000	(空欄)	「清拭」に追加
12000638	第4階層	D000	(空欄)	「粘膜ケア」に追加
12000639	第4階層	D000	(空欄)	「髭剃り」に追加
12000640	第4階層	D000	(空欄)	「爪切り」に追加
12000641	第4階層	D000	(空欄)	「化粧」に追加
12000642	第4階層	D000	(空欄)	「整髪」に追加
12000643	第4階層	D000	(空欄)	「更衣」に追加
12000644	第4階層	D000	(空欄)	「経管栄養」に追加
12000645	第4階層	D000	(空欄)	「食事介助(ハイリスク)」に追加
12000646	第4階層	D000	(空欄)	「食事介助(ロウリスク)」に追加
12000647	第4階層	D000	(空欄)	「ポータブルトイレ排泄介助」に追加
12000648	第4階層	D000	(空欄)	「尿便器排泄介助」に追加
12000649	第4階層	D000	(空欄)	「トイレでの排泄介助」に追加
12000650	第4階層	D000	(空欄)	「腸管運動促進」に追加
12000651	第4階層	D000	(空欄)	「薬理的排便調整(医師の指示による)」に追加
12000652	第4階層	D000	(空欄)	「非薬理的排便調整」に追加
12000653	第4階層	D000	(空欄)	「自己導尿の支援」に追加
12000654	第4階層	D000	(空欄)	「尿管留置」に追加
12000655	第3階層	C277	コンドーム型採尿器装着	「排泄ケア」に追加
12000656	第4階層	D000	(空欄)	「移乗」に追加
12000657	第4階層	D000	(空欄)	「移動介助」に追加

12000658	第4階層	D000	(空欄)	「移送」に追加
12000659	第4階層	D217	包布・抱っこ	表記の統一
12000660	第4階層	D000	(空欄)	「歩行介助」に追加
12000661	第4階層	D000	(空欄)	「歩行介助(杖)」に追加
12000662	第4階層	D000	(空欄)	「歩行介助(歩行器)」に追加
12000663	第4階層	D000	(空欄)	「転落防止ケア」に追加
12000664	第4階層	D218	ナースコール機能の追加	「安全ケア」に追加
12000665	第4階層	D000	(空欄)	「自傷行為の防止ケア」に追加
12000666	第4階層	D219	安全のための行動制限	「自傷行為の防止ケア」に追加
12000667	第4階層	D000	(空欄)	「自殺防止ケア」に追加
12000668	第4階層	D219	安全のための行動制限	「自殺防止ケア」に追加
12000669	第4階層	D000	(空欄)	「入眠を促す援助」に追加
12000670	第4階層	D000	(空欄)	「睡眠パターンの調整」に追加
12000671	第4階層	D000	(空欄)	「疼痛緩和」に追加
12000672	第4階層	D326	指圧	「疼痛緩和」に追加
12000673	第4階層	D327	リラクゼーション(呼吸法)	「疼痛緩和」に追加
12000674	第4階層	D328	リラクゼーション(漸進的筋肉弛緩法)	「疼痛緩和」に追加
12000675	第4階層	D000	(空欄)	「搔痒緩和」に追加
12000676	第4階層	D000	(空欄)	「高体温の改善」に追加
12000677	第4階層	D000	(空欄)	「低体温の改善」に追加
12000678	第4階層	D000	(空欄)	「用手還納」に追加
12000679	第4階層	D000	(空欄)	「その他の苦痛の予防・軽減」に追加
12000680	第4階層	D047	体位の調整	表記の統一
12000681	第4階層	D000	(空欄)	「気道の加湿」に追加
12000682	第4階層	D000	(空欄)	「気道の加湿(薬剤)」に追加
12000683	第3階層	C276	気管カニューレの閉鎖訓練	「呼吸ケア」に追加
12000684	第4階層	D000	(空欄)	「酸素吸入」に追加
12000685	第4階層	D000	(空欄)	「血栓の予防」に追加
12000686	第4階層	D000	(空欄)	「浮腫の予防」に追加
12000687	第3階層	C278	特殊なベッドメイキング	「病床・室内環境ケア」に追加
12000688	第3階層	C279	ベッドメイキング(患者臥床時)	「病床・室内環境ケア」に追加
12000689	第4階層	D000	(空欄)	「意思疎通の援助(意識障害)」に追加
12000690	第4階層	D000	(空欄)	「意思疎通の援助(理解力低下)」に追加
12000691	第4階層	D000	(空欄)	「意思疎通の援助(聴覚障害)」に追加
12000692	第4階層	D000	(空欄)	「意思疎通の援助(発声障害)」に追加

12000693	第4階層	D000	(空欄)	「意思疎通の援助(視覚障害)」に追加
12000694	第4階層	D000	(空欄)	「日常生活習慣の獲得を促すケア」に追加
12000695	第4階層	D000	(空欄)	「療養状況に関する情報収集」に追加
12000696	第4階層	D000	(空欄)	「療養状況に関する情報提供」に追加
12000697	第4階層	D000	(空欄)	「療養方法に関する情報提供」に追加
12000698	第4階層	D000	(空欄)	「患児の家族への心理的ケア」に追加
12000699	第4階層	D000	(空欄)	「家族の健康管理に関する情報提供」に追加
12000700	第3階層	C280	術前訓練の指導	「医療的手技・処置の指導(在宅療養指導を含む)」に追加
12000701	第4階層	D220	禁煙	「術前訓練の指導」に追加
12000702	第4階層	D221	深呼吸	「術前訓練の指導」に追加
12000703	第4階層	D222	強制呼吸	「術前訓練の指導」に追加
12000704	第4階層	D223	含嗽	「術前訓練の指導」に追加
12000705	第4階層	D224	咳嗽	「術前訓練の指導」に追加
12000706	第4階層	D225	体位の変換	「術前訓練の指導」に追加
12000707	第4階層	D226	床上運動	「術前訓練の指導」に追加
12000708	第4階層	D227	床上排泄	「術前訓練の指導」に追加
12000709	第4階層	H000	(空欄)	「排泄関連の指導」に追加
12000710	第4階層	D228	尿蛋白の自己測定方法	「排泄関連の指導」に追加
12000711	第4階層	D229	尿潜血の自己測定方法	「排泄関連の指導」に追加
12000712	第4階層	D230	便潜血の自己測定方法	「排泄関連の指導」に追加
12000713	第4階層	D231	残尿測定方法	「排泄関連の指導」に追加
12000714	第4階層	D232	摘便方法	「排泄関連の指導」に追加
12000715	第4階層	D233	浣腸方法	「排泄関連の指導」に追加
12000716	第4階層	D234	腹部マッサージ方法	「排泄関連の指導」に追加
12000717	第4階層	D235	腹圧調整方法	「排泄関連の指導」に追加
12000718	第4階層	D236	用手排尿方法	「排泄関連の指導」に追加
12000719	第4階層	D237	ブジー手技	「排泄関連の指導」に追加
12000720	第4階層	D238	排便コントロール	「排泄関連の指導」に追加
12000721	第4階層	D111	排尿コントロール	「排泄関連の指導」に追加
12000722	第4階層	D112	尿失禁ケア	「排泄関連の指導」に追加
12000723	第3階層	C281	バイタルサイン自己管理の指導	「医療的手技・処置の指導(在宅療養指導を含む)」に追加
12000724	第4階層	D239	自己バイタルサイン測定方法	「バイタルサイン自己管理の指導」に追加
12000725	第4階層	D240	血圧コントロール	「バイタルサイン自己管理の指導」に追加
12000726	第4階層	D000	(空欄)	「食事指導」に追加
12000727	第4階層	D000	(空欄)	「保清指導」に追加